

# 2017年度事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

## 1 事業の成果

- (1) 第35回学術大会は5,116名の参加があった。また第18回咬合フォーラム・地方主要都市での支部学術大会6回、支部別認定医教育研修会6回と支部主催認定研修会1回が開催され、2,299名の参加があった。
- (2) 認定教育研修、新規任用、資格の更新等の事業を活発に行ったことにより、期末の在籍数は指導医270名、認定医3,200名、指導歯科技工士33名、認定歯科技工士328名、指導歯科衛生士20名、認定歯科衛生士558名となった。
- (3) 学会誌を2回、広報誌（ニュースレター、Who's who）を発行、会員向け・国民向けホームページで広報活動を行った。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	内容	実施日時等
学術大会の開催事業	第35回学術大会を開催。「新・顎咬合学—国民の健康・幸福に貢献する—」というテーマで、講演と治療の実技指導を行った。	2017年6月10日 11日 於：東京国際フォーラム
一般市民向けの咬み合わせに関する社会教育活動事業	公開フォーラムを「口腔ケア・リハビリが日本を救う」のテーマで開催した。	2017年6月10日 於：東京国際フォーラム
学会誌及び会報の発行	学会誌「咬み合わせの科学」及びニュースレター・Who's whoの発行を通して、知識・技術の普及、情報公開及び社会教育活動を行った。	学会誌：37巻1・2号 5月 37巻3号 10月 Who's who：5月 ニュースレター：No.78 8月 No.79 11月
指導医・認定医の認定	指導医・認定医・指導歯科技工士・認定歯科技工士・指導歯科衛生士・認定歯科衛生士資格の査定更新、新規認定試験の実施等を行った。	認定医・認定歯科技工士・ 認定歯科衛生士 検定試験  2017年4月9日
研究会、研修会の開催	「咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—」をテーマとし、歯科医師、歯科技工士、歯科衛生士への最新知識の付与を行った。	各支部1回 計6回
顎咬合学に関する教育講演会の開催	咬合フォーラム及び支部学術大会を開催した。	咬合フォーラム： 2017年10月1日 於：石川県立音楽堂
調査研究活動	咬合スコア縦断調査の集計、検討。九州大学歯学部と共同で臨床データの調査、研究。	随時

<p>咬み合わせに関する 広報・啓蒙活動並びに 情報提供事業</p>	<p>嚙むことの重要性を広く国民に伝えることを目的とした講演活動を展開した。 会員向け・国民向けホームページ等を通して活動内容の紹介、咬合の知識及び口腔衛生思想の向上、普及を行った。</p>	<p>随時</p>
<p>関係団体、諸学会との 協力、連携</p>	<p>海外有識者とのコンタクト、国内関連学会との協賛、関連団体への協力を行った。</p>	<p>随時</p>